

FT-施要-09014A 号

2021 年 1 月 26 日

延焼防止材料  
「プロテコ<sup>®</sup>テープ 2 号」  
施工要領書

株式会社古河テクノマテリアル

## 1. 製品概要

本製品は、テープタイプの延焼防止材です。本製品を、洞道ー変電所間の引き込み部あるいは変電所内配電盤床下貫通部付近などで単条布設されている各種ケーブル(電力、通信、光ファイバなど)に巻付けることにより、その部分が高度な難燃性を備えた防火保護層となり、その先にある重要設備への延焼を防止します。

なお、各種ケーブルの多条布設に対しては、シートタイプの延焼防止材「プロテコ®シート-P2・eco」などがあります。詳細につきましては、当社までお問い合わせください。

## 2. 性能

### 2.1 延焼防止性

本製品は、IEEE std.383-1974およびJIS C 3521参照「垂直トレイ燃焼試験」<sup>(※)</sup>(815℃加熱×20min)に合格しております。



図-1 垂直トレイ燃焼試験

(※)IEEE std.383-1974は、アメリカ電気学会が制定した原子力発電所用ケーブルの試験規準であり、この中に記載されている「垂直トレイ燃焼試験」は、延焼性の有無を評価する試験方法として制定されています。日本国内でも、JIS C 3521として規格化されており通信ケーブル、耐火・耐熱電線等の難燃性評価に用いられています。本製品はこれらの規格を流用して、その延焼防止性を評価しております。

## 2.2 物性

本製品は、耐油・耐水性に優れております。試験結果につきましては、延焼防止材「プロテコ®テープ2号」仕様書を参照してください。

## 3. 品番および構成材料

本製品の品番および仕様を表-1、製品の外観を図-2 に示します。

表-1 品番および仕様

品番	仕様			
	構造	サイズ(mm)		
		厚さ	幅	長さ
PTP2	<ul style="list-style-type: none"><li>・難燃化ゴムの1層構造</li><li>・融着防止として片面に離型紙を貼付</li></ul>	0.7	50	5,000

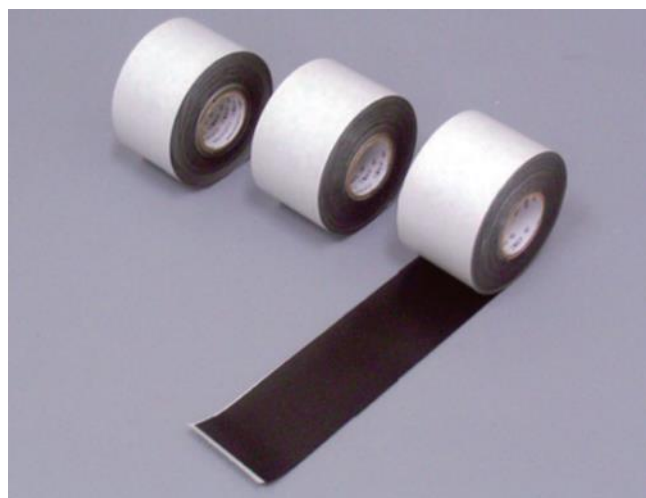
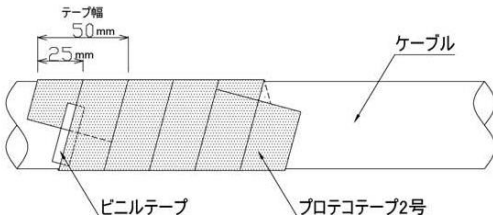
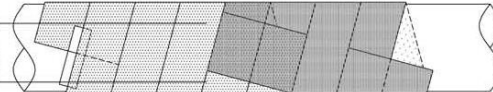
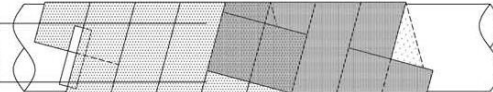






図-2 外観

#### 4. 施工手順

本製品は、テープ幅に対し 1/2 重ねで往復巻付けます。施工手順を以下に示します。

<p><b>1 巻き始め</b></p> <p>テープに付いているセパレーター(白色)を剥ぎ取りながら、テープ幅50mm に対し1/2重ねで巻付けていきます。</p> <p>この際、巻き始めの角度にご注意ください。また、巻き始めをビニルテープ等で仮止めすると巻付け作業が容易になります。</p>	 <p>テープ幅 50mm 25mm ケーブル ビニルテープ プロテコテープ2号</p>
<p><b>2 一層目巻付け① (テープ巻付け中)</b></p> <p>テープは、テープ幅が2~3mm狭くなる程度の弱い張力で巻付けてください。</p> <p>(強く引張って巻いた場合、経時変化により亀裂を生じる可能性があります)</p> <p>また、テープ相互間およびケーブルとの間に空隙が出来ないように巻付けてください。</p>	
<p><b>3 一層目巻付け② (テープ途中終り)</b></p> <p>テープが途中で終わった場合、次のテープを巻き終わったテープの下に約 50mm 差し込んでから巻付けます。</p>	
<p><b>4 一層目巻付け③ (テープ折返し)</b></p> <p>テープの折返し部分では、テープを 2~3 重巻きにして一度ケーブルと垂直になるようにし、逆向きの角度をつけて巻付けます。</p>	<p>2~3重巻きにしてケーブルと垂直にする</p> 
<p><b>5 二層目巻付け①</b></p> <p>一層目巻付け①、②と同じ要領で巻付けていきます。</p>	
<p><b>6 二層目巻付け② (巻付け完了)</b></p> <p>巻付け完了部分は、4 項と同様に 2~3 重巻きにして、ケーブルと垂直になるようにしてからテープをハサミ等で切断し、ビニルテープで固定して施工完了となります。</p>	<p>2~3重巻きにしてケーブルと垂直にする</p>  <p>ビニルテープ(全周巻く)</p>

<p><b>⚠ 注意</b></p> <p>ケーブルから外した線路名板などは必ず元の位置に戻してください。また受け枕、ラックなどへのケーブル結束はケーブル敷設工事基準に従ってください。</p>	
<p><b>⚠ 注意</b></p> <p>本製品は、傷、穴などが有ると延焼防止機能が低下します。ケーブル敷設工事などで、万一、傷がついた場合、その部分は切断して新たに巻き直してください。</p>	
<p><b>⚠ 注意</b></p> <p>ケーブル 1 本毎に巻いてください。</p>	

## 5. 注意事項

### 5.1 保管・運搬



- ・ 風雨や直射日光を避けて室内または冷暗所(倉庫など)で保管してください。
- ・ 汎用ポリエチレン袋は、開封せずに保管ください。
- ・ 開封したテープは使い切るようにお願いします。

### 5.2 廃棄




廃棄される場合には、安全データシート(SDS)をご請求頂き、各地方自治体の規則に従って適切に廃棄してください。








## 6. 安全に関するご注意

ご使用前に必ず、この「安全に関するご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

◆ 図記号の意味は、次のとおりになっています。

	<b>注意</b> : 気をつける必要があることを表しています。
	<b>禁止</b> : してはいけないことを表しています。
	<b>指示</b> : しなければならないことを表しています。

 <b>警告</b>		子供・幼児の手の届くところに材料部材を置かないでください。
		単心の電力ケーブルが貫通する場合は周囲に鉄系の金具を配置しないでください。
		取扱説明書また認定書・評定書に従って施工してください。
		液体状のものを扱う場合は保護めがねを着用してください。 繊維状または粉状のものを扱う場合はマスクおよび保護めがねを着用してください。
 <b>注意</b>		金具を扱う場合は保護具を着用してください。
		特殊な環境下で使用される場合は事前に相談ください。
		防水性が要求される場合は別途施工してください。

## 7. 免責事項

- (1) 本製品の延焼防止性能を得るためには、施工品質が大変重要になります。これらを施工するにあたり、施工方法をよくご理解いただき、施工者及び建物管理者の責任において施工及び維持管理していただきますようお願い致します。
  
- (2) 以下のような場合において問題が生じた場合、当社として責任を負いかねますのでご了承ください。
  - ① 弊社指定以外の材料を使用した場合
  - ② 本来の使用目的以外に使用した場合
  - ③ 再通線、改修工事などにおいて、不適切な施工により問題が生じた場合
  - ④ 「安全に関するご注意」を守らなかった場合
  - ⑤ 適切な維持・管理が行われていない場合
  - ⑥ 通常の経年変化(使用に伴う消耗、磨耗など)や経年劣化、またはこれらに伴うほこりによる仕上がりの変化の場合
  - ⑦ 周辺環境に起因する場合(例えば、酸性・アルカリ性のガス、異常な高温・低温・多湿、結露など)
  - ⑧ 躯体の変形など、製品以外の不具合に起因する場合
  - ⑨ 犬、猫、鳥、鼠、蛇などの小動物・昆虫やソルや根などの植物に起因する場合
  - ⑩ 犯罪、いたずらなどの不法な行為に起因する場合
  - ⑪ 戦争・紛争・天災その他の不可抗力による場合(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、など)
  - ⑫ 実用化されている技術では予測不可能な現象、またはこれが原因による場合

## 8. その他

本施工要領書記載の内容は、製品改良等のため、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

以上